

2025 年度事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ISAPH

1. 実施事業の概要

社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院と協働して国際協力事業（東南アジアのラオスにおける母子保健・栄養事業、アフリカのマラウイにおける母子栄養改善事業）を実施したほか、団体独自の事業として、教育・研修事業、調査・研究事業に取り組んだ。

国際協力事業では、ラオス中部カムアン県の複数の郡で活動を展開した。県商工局の協力のもと、養殖昆虫の販売による収益化や市場拡大に取り組み、生計向上と栄養改善につながる基盤づくりが進展した。また、県内の保健センターに対し、身長・体重計の供与や子どもの栄養評価研修を実施した。マラウイ北部ムジンバ県では、聖マリア病院を主契約者とする JICA 草の根技術協力事業が開始され、当法人は事業運営および研究面から支援を行った。活動設計や研修資材整備、行動変容支援に関する助言を通じて、地域における栄養改善・母子保健活動の推進に協力した。

教育・研修事業では、外務省 NGO インターン・プログラム対象者をラオス事務所に派遣し、専門家として活躍できるよう育成に励んだ。またスタディツアーを実施、学生インターンの受け入れやフィールド研究支援、出前講義など、例年以上の活動を継続した。

調査・研究事業では、国際協力事業の成果を学会等で発表するとともに、「レシピ紹介によって栄養改善を図った一例ーマラウイ北部ムジンバ県からの報告ー」を JICHA ジャーナルへ投稿した。また、聖マリア研究センターから「昆虫に対する食認知および摂食動機の解明」および「妊婦の受診行動促進に対する選択アーキテクチャ」に関する現地調査業務を受託して作業を行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施期間 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の範囲と人数	事業費（単位：千円）
①保健・医療分野の国際協力事業 (1) 「ラオス国昆虫養殖技術普及事業」	◆昆虫養殖技術普及支援 養殖昆虫の販売による収益化に向け、市場取引の拡大や消費者の開拓に取り組んだ。県・郡商工局が特産品化に向けたオーナーシップを示し、食品加工やイベント出展に協力。現地の食文化を活かしつつ、生計向上と栄養改善につながる基盤が整った。	(A) 2024 年 4 月 ～2027 年 3 月 (B) ラオス国カムアン県サイブートン郡 (C) 3 名	3 村人口：約 2,700 人	7,134
①保健・医療分野の国際協力事業 (2) 「保健センター基盤整備プロジェクト」	◆保健センター基盤整備 保健センターを対象に、身長・体重計の機材供与と子どもの栄養状態評価のための研修を実施した。	(A) 2020 年 12 月 ～2025 年 3 月 (B) ラオス国カムアン県ボラパー郡・ナーカーイ郡 (C) 3 名	保健医療従事者約 50 名 (9 保健センター) 5 歳未満児人口：約 2,195 人	

①保健・医療分野の国際協力事業(3) 「マラウイ国母と子の地域栄養改善事業」	◆母と子の栄養改善活動 雪の聖母会聖マリア病院が実施する栄養改善活動について車両を提供するなどして補佐し、対象地域の村人を中心とした地域主体の栄養改善を進めた。また次の事業準備のためのネットワーク構築、地域の基盤づくりに取り組んだ。	(A) 2024 年 4 月～2028 年 3 月 (B) マラウイ国ムジンバ県カテテ・チカンガワ・エンデインデニ保健センター (C) 1 名	保健医療従事者約 462 名 (3 保健センター) 5 歳未満児人口：約 7,285 人とその母親、および妊婦 (850 名)	1,375
③医師・看護師その他の保健・医療・福祉従事者の研修事業 (1)	◆現地スタディツアー 4 大学 (聖マリア学院大学、東京科学大学、東京医科大学、山梨県立大学) から依頼を受け、ラオススタディツアーを実施した。マラウイでは JICA 海外協力隊体験プログラムを受け入れた。	(A) 2025 年 8-9 月、2026 年 2 月 (B) ラオス・マラウイ (C) 2 名	37 名 ※教員含む	1,685
	◆インターン/学生研究支援 学生 4 名に対して、東京およびラオス事務所にてインターン受け入れを行った。 大学院生 1 名に対して、ラオスフィールド調査支援を行った。	(A) 随時 (B) 東京、ラオス、マラウイ (C) 2 名	大学生・大学院生 5 名	
	◆出前講座 小学校・高校・大学・病院において、国際保健医療協力や海外での草の根活動の実際について、講義を行った。	(A) 随時 (B) 日本国内 (C) 3 名	小学校 1 校 高校 1 校 大学 6 校 病院 2 件	
③医師・看護師その他の保健・医療・福祉従事者の研修事業 (2) 外務省 (NGO インターン・プログラム)	◆インターン/学生研究支援 外務省 NGO インターン・プログラムとして有給のインターンをラオス事務所に派遣した。	(A) 随時 (B) ラオス (C) 1 名	インターン・プログラム 1 名	3,184
④保健・医療・福祉関連データの収集・分析・活用事業(1)	◆現地調査等業務受託 昆虫食文化圏における食物としての昆虫に対する摂食動機とその変化(科研費)ならびに妊婦の受診行動促進に対する選択アーキテクチャ(科研費)に関する調査を行った。	(A) 2024 年 4 月～2029 年 3 月 (B) ラオス国カムアン県サイブートン郡 (C) 4 名	調査参加者：約 90 名	2,572

	◆科学研究／市民研究 外国人住民の保健医療アクセス にかかる社会的「担い手」への支 援ニーズ	(A) 2023 年 4 月 ～2026 年 3 月 (B) 福岡県全域 (C) 1 名	NPO/NGO/CSO 約 500 団体/個 人	
	◆学術大会等における発表 第 40 回日本国際保健医療学会 第 75 回聖マリア医学会学術集会 第 44 回日本国際保健医療学会西 日本地方会	(A) 随時 (B) 日本国内 (C) 3 名		
	◆論文投稿（JICHA ジャーナル） レシピ紹介によって栄養改善を 図った一例ーマラウイ北部ムジン バ県からの報告ー	(A) 随時 (B) 日本国内 (C) 3 名		

(2) その他の事業
実施しなかった

2025年度収支決算報告

項目	金額	内容
前年度繰越金	13,220,467	
収 入	19,268,037	
収入内訳	745,000	会費
	6,232,799	寄付金
	4,050,000	助成金・補助金
	5,992,063	事業収益(業務委託等)
	2,248,175	その他
支 出	16,901,272	
支出内訳	10,318,007	国際協力事業(ラオス)
	1,374,842	国際協力事業(マラウイ)
	1,684,630	教育・研修事業
	2,571,674	調査・研究事業
	808,486	管理部門
	143,633	その他(雑費・法人税等)
収支差	2,366,765	
2025年度末期預金額	15,587,232	

2026年度予算

項目	金額	内容
前年度繰越金	15,587,232	
収 入	64,200,000	
収入内訳	900,000	会費
	300,000	寄付金
	35,000,000	助成金・補助金
	27,700,000	事業収益(業務委託等)
	300,000	雑収入
支 出	59,000,000	
支出内訳	51,000,000	国際協力事業(ラオス)
	3,000,000	国際協力事業(マラウイ)
	1,800,000	教育・研修事業
	2,000,000	調査・研究事業
	1,000,000	管理部門
	200,000	その他(雑費・法人税等)
収支差	5,200,000	
2026年度末期残高	20,787,232	

貸 借 対 照 表
2026年3月31日現在

(単位：円)

科目		金額		
I	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金	43,059,913		
	売掛金	0		
	短期貸付金	139,770		
	立替金	0		
	仮払金	0		
	未収入金	12,783		
	流動資産合計		43,212,466	
2	固定資産			
	有形固定資産			
	車両運搬具	4,612,847		
	固定資産合計		4,612,847	
	資産合計			47,825,313
II	負債の部			
1	流動負債			
	未払金	230,000		
	前受金	31,827,981		
	未払法人税	141,000		
	未払消費税	39,100		
	流動負債合計		32,238,081	
	負債合計			32,238,081
III	正味財産の部			
	前期繰越正味財産		13,220,467	
	当期正味財産増減額		2,366,765	
	正味財産合計			15,587,232
	負債及び正味財産合計			47,825,313